SDGs達成の鍵を握るのは、僕らではなかった。
「生きる力」を育み未来を担う子どもたちの無限の可能性と力を信じて

世界に1つしかない「門川の海の絵本」を作りました。

門川海の絵本
宮崎大学チャレンジ・プログラム
SDGsとESD

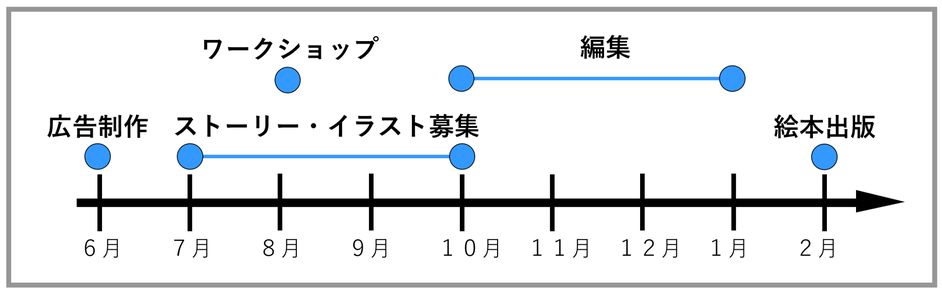
古くからの漁師町、門川町。
海と人が共存してきたその場所は、岩礁・河口・砂浜のような様々な水辺が身近にある。
僕ら大学生は日々、門川の海を舞台に研究を行っていて、魚の多様性を明らかにしてきた。

でも、門川の海を一番愛しているのは？

庵川の壁画。毎年門川の小学6年生が、海への様々な想像を描くという。
そして門川の魚かるた。これは僕たちが2019年にチャレンジ・プログラムをとおして作ったものだ。いまでは門川町内の小学校で活用されている。
門川の小学生はみんな魚に詳しい。

子どもたちのその純粋な、「海を愛する心」を1冊の絵本に綴ること。

それが今年の僕らのミッション。
こうして始まった「きかせて、門川の海のストーリー企画」。



延岡フィールドに届いたたくさんのストーリーとイラスト。
メンバー全員で子どもたちひとりひとりの想いを取りこぼすことなく切り取り、つなげる。

子どもたちが様々な問題（地域課題）を「自分の問題」としてとらえ、行動しようとする（※）強い意志をしっかりと受け取りました。
※持続可能な開発のための教育（ESD）が目指すところ

僕たちがこの企画を経て得たもの、それは紛れもなく純粋な郷土愛・自然愛だろう。

そして「夏休みの思い出」を、門川の人にもっと、ずっと読んでもらうこと。

僕たちがこの絵本に込めた想いです。

これは僕たちをいつも魅了する、そしてみんなが愛する門川の海の物語です。
どうぞ手に取ってお読みください。

きかせて、門川の海ストーリー

～考える、作る、つながる。～

緒方悠輝也[1, 2, 6]・**日髙優衣**[3]・**長友結依**[2, 4]・**大衛亮正**[2, 4]・**小原直人**[2, 4]・**栗原　巧**[2, 4]・**斎木悠亮**[2, 4]・**眞田樹也**[2, 5]・**津守康成**[2, 5]・**村瀬敦宣**[2, 4]

1, 宮崎大学大学院農学工学総合研究科博士課程
2, 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター延岡フィールド
3, 宮崎大学教育学部学校教育課程小中一貫教育コース
4, 宮崎大学農学部海洋生物環境学科
5, 宮崎大学大学院農学研究科修士課程
6, 企画代表